



DATE: 令和8年4月23日

いのちとくらしをまもる
防災減災

国土交通省 天竜川上流河川事務所

「平成18年7月豪雨から20年」
～過去を教訓にこれからの流域治水を考える～
「パネルの展示」を実施します。

1. 概要 「平成18年7月豪雨」から20年を迎えるにあたり、これまでの災害から学び、教訓を風化させることなく次世代に伝え、災害を自分事として捉え、流域の一員として自ら行動できるよう「流域治水」の考えをより広く社会へ浸透させる取り組みとしてパネル展示を各市町村及び機関において下記の日程で実施します。

実施日：4/27-7/10、詳細は別紙1のとおり。

各実施機関の開庁時間および商業施設の営業時間内による。

実施内容：A1判 9枚（別紙2参照）

実施場所：各実施機関の任意の場所による。

2. 同時配布 このお知らせは、諏訪湖記者クラブ、伊那記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブに同時配布しています。

3. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
流域治水課長 小原 彩（オバラ アヤ）
流域連携係長 岡本 真一（オカモト シンイチ）
TEL:0265-81-6415 FAX:0265-81-6420

【各地方自治体及び国の機関】

別紙 1

展示日	会場				
4/27 (月) -5/8 (金)	岡谷市 (岡谷市役所)	辰野町 (辰野町役場)	飯島町 (飯島町役場)	飯田市 (飯田市役所)	
5/11 (月) -5/15 (金)	下諏訪町 (下諏訪町役場)	箕輪町 (箕輪町役場)	中川村 (中川村役場)	飯田建設事務所	
5/18 (月) -5/22 (金)	諏訪市 (すわっチャオ!! 諏訪市駅前交流テラス)	南箕輪村 (南箕輪村役場)	大鹿村 (大鹿村役場)	阿智村 (阿智村役場)	
5/25 (月) -5/29 (金)	諏訪建設事務所	伊那建設事務所	天竜川ダム統合管理事務所 (小浜ダム)	下條村 (下條村役場)	
6/1 (月) -6/5 (金)	茅野市 (茅野市役所)	伊那市 (伊那市役所)	松川町 (松川町役場)	泰阜村 (泰阜村役場)	
6/8 (月) -6/12 (金)	原村 (原村役場)	天竜川ダム統合管理事務所 (美和ダム管理支所)	高森町 (高森町役場)	阿南町 (阿南町役場)	長野県河川課 (長野県庁)
6/15 (月) -6/19 (金)	宮田村 (宮田村役場)	豊丘村 (豊丘村役場)	売木村 (売木村役場)		
6/22 (月) -6/26 (金)	駒ヶ根市 (駒ヶ根市役所)	喬木村 (喬木村役場)	天龍村 (天龍村役場)		
7/1 (水) -7/10 (金)	富士見町 (富士見町役場)				

【商業施設】

展示日	会場
5/11 (月) -5/17 (日)	ベルシャイン駒ヶ根店
5/18 (月) -5/24 (日)	ベルシャイン伊那店
5/25 (月) -5/31 (日)	イオン箕輪店
6/1 (月) -6/7 (日)	イオン飯田店

平成18年7月豪雨から20年

～過去を教訓にこれからの流域治水を考える～

天竜川上流 流域治水協議会

流域治水に取り組んでいます



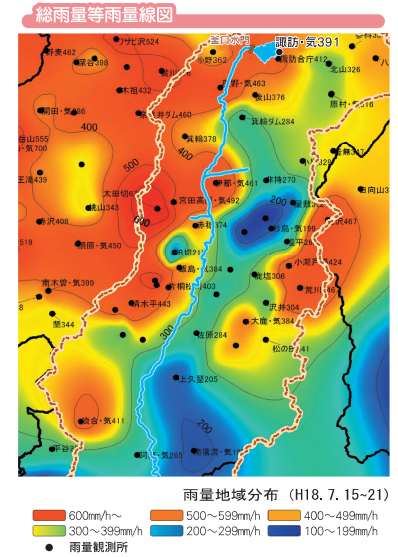
作成:天竜川上流流域治水協議会事務局
国土交通省天竜川上流河川事務所流域治水課
長野県 建設部 河川課



降雨の概要

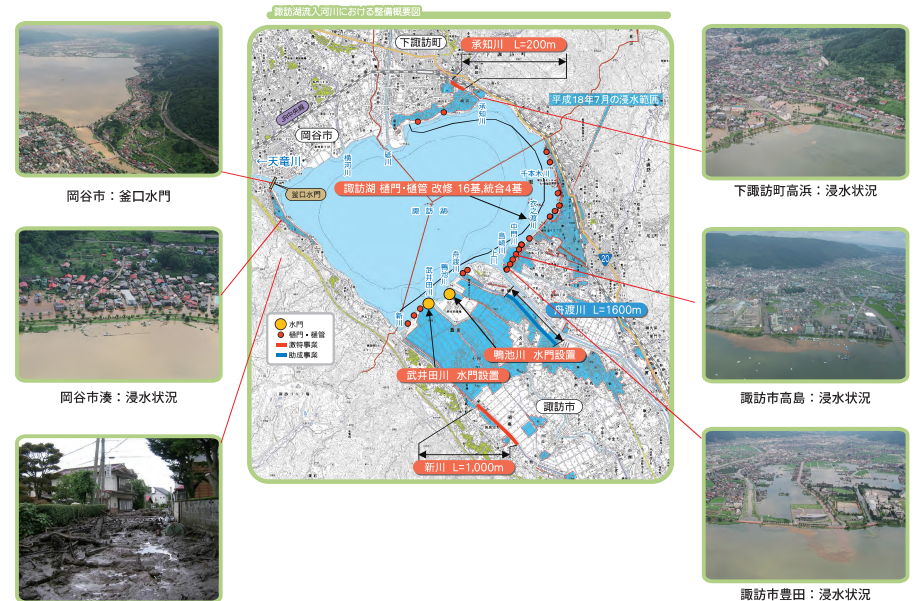
平成18年7月15日以降、梅雨前線は本州付近に停滞し南からの暖かく湿った空気の影響で梅雨前線の活動が活発となり、長野県内では18日夕方以降、記録的な豪雨となりました。

- 諏訪湖上流域、伊那谷天竜川西側地域で多量の降雨
- ・諏訪観測所で2日連続で日雨量が観測史上 第2,3位 (24時間雨量223mm、48時間雨量で317m)
- ・辰野観測所で観測史上最大の雨量 (24時間雨量246mm、48時間雨量335mm)



諏訪湖周辺の被災状況

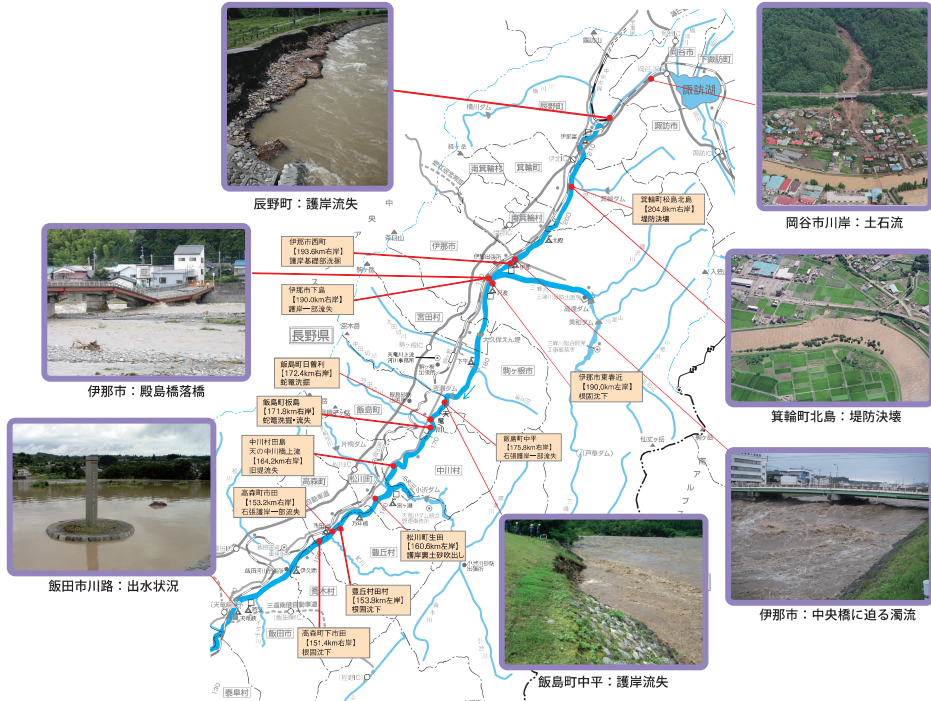
諏訪湖周辺では広範囲で浸水被害と土石流被害が発生しました。



平成18年7月豪雨

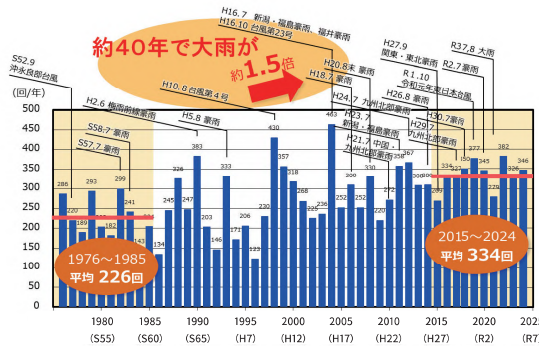
天竜川周辺の出水・被災状況

天竜川周辺では広範囲で濁流による堤防決壊や護岸流失などが発生しました。

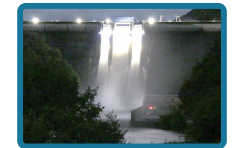


雨の降り方の変化と近年の出水

近年、時間雨量 50mm を上回る短時間降雨の発生件数の増加や、総雨量 1,000mm 以上の雨が頻発するなど、雨の降り方が集中化・激甚化しています。



1時間降水量 50mm 以上の年間発生回数 (アメダス 1,300 地点あたりに換算した値) 出典：国土交通省水害レポート 2024 より



令和元年 美和ダム異常洪水時防災操作



令和2年 三峰川堤防の欠損



令和3年 諏訪湖周辺の浸水

流域治水とは？

最近の気候変動によって、私たちは今までの想定を超える水害にあう可能性が全国で高まっています。

これまでの水害対策は河川の管理者が中心となって行われてきましたが、「流域治水」とは、行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者とともに協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」をしようという考え方です。長野県に住む人はみんな川の流域に暮らしています。私たちの流域治水です。自然にはかなわない。だからこそ私たちの川を含む地域の環境を守りながら、「どうすれば災害を減らせるのか、普段からやれることは何か？」が大切です。「流す」「留める」「備える」この3つの柱に沿って、みんなで一緒に考えていきましょう！

01 流域治水 流す

川の流れをよくするために堤防や護岸を整備し、しっかりと水が流れる仕組みを作ることが大切だよ。どんな取組みがあるか調べてみよう！

02 流域治水 留める

水を一時的に留めておくことで、川へ一度に流れる量をおさえたり、ゆっくり流したりして川の水があふれるまでの時間をかせぐことにもつながる。どんなとこに留める取組みがあるか知っておう！

03 流域治水 備える

川があふれることを想定して、どのタイミングまでにどのような行動を取るべきかな？ 信州防災アプリをダウンロードするなど、避難計画・マイタイムラインに役立てよう！



流域治水としてみんなができること ①

水害に備え、今、私たちができること。

ここ数年、前例のない豪雨^{こうう}が多くの被害をもたらしています。だから今、水害リスクに備えるために「皆が力を合わせ豪雨に備える」ことが必要です。水害は怖い、でもそのために私たちが「できること」はたくさんある。「雨に負けない信州」を目指して、力を合わせて。

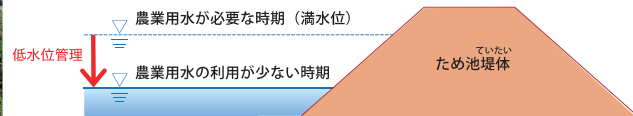
期待される雨水貯留^{うすいちょりゅう}の取組

ため池を活用した雨水貯留

ため池は、かんがいのために水をためていますが、水位を下げて空き容量を確保することにより、降雨時の流入水を一時的に貯留させ、河川への流出量を減らすことができます。



浅川大池



どうやって雨水をためるの？

農業用水としての利用が少ない時期（8月下旬～10月下旬）に、水位を下げて管理します。また、大雨が予想される際に、あらかじめ水位を下げておくことも効果が期待できます。
※営農に影響しない範囲で取り組みます。

水田を活用した雨水貯留（田んぼダム）

水田には、大雨の際、雨水を一時的にためて、水路のピーク時の流量を減らす働きがあります。



写真提供：新潟市（白根郷地区の取組状況）

流域治水としてみんなができること ②

私たちができる雨水対策

雨水タンクの設置^{ちよすい}（雨水貯留施設^{せつち うすい ちょりゅう せつ}）

雨水の貯留や透水性舗装の整備等により、降雨が一気に河川や水路に流入することを抑制します。これにより、河川や水路の流量の増加を抑え、浸水被害を軽減し洪水緩和の役割も担っています。市町村によっては設置に補助金があります。



各家庭で出来る雨水貯留のイメージ



各戸貯留の取組（松川町）



補助金制度の案内（松川町）

貯水タンクのメリット

屋根に降った雨を貯留タンクに一時的に貯めることで、水路や側溝などに一挙に流れ出る水の量を減らすことができ、浸水被害の軽減につながります。

長野県内の全戸に雨水タンクが設置されると、1億6700万リットルの雨水が貯水できます。これは25mプール約280杯分に相当します。

※タンク200リットル・世帯数83万5000世帯・25mプール（25m×16m×1.5m）で算出しています。



植物への散水



洗車



災害時用水

その他のメリット

- 植物の水やりに使うなど水道代を節約
- 断水時の雑用水として活用（トイレ排水など）

大雨の時に水を流さない

大雨の時は風呂の排水や洗濯を後にするなどの工夫をすることで、洪水時に川や下水管を流れる水を減らすことができます。



雨を庭に浸透させる

家の庭などは、アスファルトやコンクリートで固めず、芝生や砂利敷にすると、雨が土に染み込むことで洪水被害の軽減につながります。



流域治水としてみんなができること ③

知っておこう！もしもの防災知識

新機能追加で充実のパワーアップ！ 河川砂防情報ステーション

Webサイト全面リニューアル

トップ画面で4つの防災情報が一目でわかるようになりました。マップ画面がさらに見やすくなり、雨量ランキンクなど新たなコンテンツも充実しました。

パソコン版サイトが見やすくなりました

リニューアルPoint
✓8つの言語に対応

マップ新機能Point

✓スネークラインが
地図上で最大3つ表示可能

スマホ機能が充実

PC版と同様の内容がスマホでも見られるようになりました。マップでの防災情報に加え、雨量/水量/ダム/川の状況を表やグラフで確認できます。

スマホ機能Point
✓GPSで現在地の状況を簡単にチェック

キキクルレベル5に対応

大雨による災害発生危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」通称「キキクル」のレベル5に対応に伴い、災害切迫を追加しました。

「逃げ遅れゼロ」に向けた取組 信州防災アプリ

信州防災アプリ

災害からの「逃げ遅れ」を出さないためには、「自らの命は自らが守る」という意識をもって、行動をとることが大切です。災害時にどのような避難行動をとればよいのかを整理した「私の避難計画」(マイタイムライン)の作成や、スマートフォンの位置情報に応じて避難情報をお知らせする機能を有する「信州防災アプリ」を配信中です。ぜひご利用ください。

「私の避難計画」を作成！
避難情報を通知でお知らせ！



アプリのダウンロードはこちら
Android iOS

危険なエリア、避難場所をチェックできる！ 雨が降る前にチェック

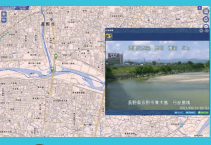
国土交通省が運営する、「ハザードマップポータルサイト」。雨が降る前に事前に確認できるから、万が一に備えることができます。洪水の他にも土砂災害や地震防災・危険度マップ情報も見ることができます。



- 右下のQRコードを読み込んでサイトが開いたら下へスクロール。「わがまちハザードマップ」でお住まいのまちを選んで検索。
 - 洪水ハザードマップの公開中リンクをタップ。
 - 市町村のページを下へスクロールし、お住まいの地区のPDFをタップ。
- 市町村
浸水を想定した区域図をもとに、市町村は「洪水ハザードマップ」などを作成します。
- 住民のみなさん
住民の皆さんは、ハザードマップを活用し、避難など正しい行動につなげましょう。

“現在”の河川状況がリアルタイムで分かる！ 川の防災情報

川の防災情報
https://www.river.go.jp/index (PC・スマホ・タブレットにも対応)
河川の水位、降雨、監視カメラの映像をリアルタイムで確認できます。大雨時に河川に近くのは危険なので近寄らないようにしましょう。



流域治水クイズ

みんなはどれくらい知ってるかな？ 身近な流域治水の取組を学ぼう！

初級編① Q. 身近にある田んぼも雨水をためることに活用できるよ。このような田んぼをなんていうでしょう？



ヒント
田んぼには大雨の際、雨水を一時的にためて、水路から水があふれないようにする働きがあるんだよ。

グループワーク
【考えよう】 どうやって雨水を調節するの？
田んぼの水は水路を通って川に流れこむよね。どうやって調節するのか、みんなで話し合ってみよう。

初級編② Q. 家で雨水をためる方法はなんだろう？



ヒント
屋根に降った雨を一時的にためることで、水路や側溝などへ流れ出る量を減らすことができるんだよ。

グループワーク
【考えよう】 日常で役立つ活用例は？
たまった雨水は、普段の生活でも活用できます。どんなことに活用できるかな？ みんなで話し合ってみよう。

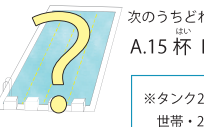
中級編 Q. 学校が緊急時には雨水をためる場所になる。どこだろう？



ヒント
いつも遊んでいるあの場合が？！
学校の中で一番広い場所を考えてみよう。

グループワーク
【考えよう】
他にも身近な場所に雨水をためたり、川に流れる水の量を抑えたりする対策があるよ。みんなで考えよう！

上級編 Q. 長野県内のすべての家に雨水タンクが設置されると25mプール何杯分の雨水をためられるでしょう？



次のうちどれでしょう
A.15杯 B.125杯 C.280杯
※タンク200リットル・世帯数83万5000世帯・25mプール(25m×16m×1.5m)で計算しよう。

①：豊後川 / ②：豊後川 / ③：豊後川 / ④：豊後川 / ⑤：豊後川 / ⑥：豊後川 / ⑦：豊後川 / ⑧：豊後川 / ⑨：豊後川 / ⑩：豊後川

わたしたちにできること

グループワーク
【発表しよう】
自分や仲間、おうちの方と一緒にできる「流域治水」について、意見を発表しよう！

流域治水学習動画まとめ
お父さん、お母さんとも一緒に見てみよう！
本編(20分) 資料編(16分)

★動画には洪水などの映像が含まれます。ご注意ください。

カワナビ カワナビく流域治水>
川を中心に水辺の情報案内をしています。
https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/index.html

これからの水災害対策
まち全体、河川の流域全体で、水災害対策に取り組む「流域治水」についての参考情報が掲載されています。みんなで水災害に備えましょう。

水の防災一チェックブック(PDF)
「水の防災」について、すぐにはじめられること、押さえておきたいことが簡単にまとめてあります。



「基調講演会」平成18年7月豪雨から20年

～過去を教訓に これからの流域治水を考える～



「平成18年7月豪雨」では、諏訪湖・天竜川上流域で観測史上最大の降雨が記録し、各所で土砂災害が発生し、生命・財産が奪われたほか、諏訪湖周辺での広範囲にわたる浸水被害や箕輪町内での天竜川の決壊など多くの災害が発生しました。

天竜川上流域では、近年の気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害に備える「流域治水」を推進させるため、令和2年度に「天竜川上流流域治水協議会」を発足し、流域一帯で取り組んでいます。

この度平成18年7月豪雨から20年の節目を迎えるにあたり、これまでの災害から学び、教訓を風化させることなく次世代に伝える必要があります。災害を自分事として捉え、流域の一員として自ら行動できるよう「流域治水」の考えをより広く社会へ浸透させることを目的に基調講演会を開催します。

「平成18年7月豪雨」による被害状況



諏訪市豊田：浸水状況



箕輪町北島：堤防決壊



令和8年 6月11日(木)

14:30 ~ 17:00 ※14:00 ~ 受付

会場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」
6階 ニシザフいなっせホール

入場
無料

※大雨等により中止とする場合には、天竜川上流河川事務所のホームページにてお知らせいたします。

プログラム

- 14:00 ■ 受付開始
- 14:30 ■ 開会挨拶
- 14:40 ■ オープニングトーク
「平成18年7月豪雨と災害報道」
平山 直子 伊那ケーブルテレビジョン アナウンサー
- 15:00 ■ 講演 1
「平成18年7月豪雨災害を振り返る」
三上 幸三 (一財) 砂防・地すべり技術センター 理事
(平成18年 天竜川上流河川事務所長)
- 15:45 ■ 講演 2
「流域治水における田んぼダムの可能性」
吉川 夏樹 国立大学法人 新潟大学 農学部 教授
- 16:50 ■ 閉会挨拶

会場案内

伊那市生涯学習センター「いなっせ」
〒396-0025 長野県伊那市荒井 3500-1
TEL: 0265-78-5801

【電車】
JR 伊那市駅から徒歩約5分

【車】
中央自動車道
小黒川スマートICから約5分

★駐車場は、生涯学習センター（いなっせビル）となりの立体駐車場をご利用ください。満車の場合は、地図にある他の駐車場に停めてください。
いなっせの立体駐車場・セントラルパーク駐車場・市営駅前駐車場・図書館横の中央駐車場が、無料化の対象となります。

CPD、CPDS対象講習会

★参加希望の方はこちらからお申込みください



【主催】天竜川上流 流域治水協議会

【後援】天竜川上流治水促進期成同盟会/長野県河川協会/長野県治水砂防協会/(一社) 中部地域づくり協会/(一社) パブリックサービス/(一社) 長野県建設業協会/(一社) 長野県測量設計業協会/(一社) 建設コンサルタントタレント協会関東支部
[河川協力団体] (一財) 飯田市天竜川環境整備公社/天竜川総合学習館 かわらんべ/西吾近地域協議会/三峰川みらい会議
(一社) 長野県南部防災対策協議会/(一社) 商信防災情報協議会
[河川協力団体・水防協力団体] NPO法人 天竜川ゆめ会議



【お問い合わせ】国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 流域治水課

〒399-4114 長野県駒ヶ根市上郷南 7-10 TEL: 0265-81-6415 FAX: 0265-81-6420